競　技　注　意　事　項

2026.10.24

1．本大会は、2026 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定により運営する。

2．招集について

⑴競技者は出場種目の招集開始時刻より完了時刻までに招集場にて競技者係にアスリートヴィブス番号を申し出、競技者係のチェックを受けたのち、トラック競技出場者は腰ナンバーカードを受け取り、各自で競技場所に移動する。さらに競技場所で役員による最終コールを必ず受けること。最終コール時に競技場所にいない場合は競技に出場できない。

⑵競技を棄権する選手はあらかじめ競技者係にその旨を申し出ること（代理人でもよい）

⑶招集は下記の通りとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	競技開始時刻の３０分前	競技開始時刻の２０分前
フィールド種目	競技開始時刻の５０分前	競技開始時刻の４０分前

⑷選手の招集は、１００ｍスタート側Ａ倉庫前で行う。

⑸リレーの招集については競技開始時刻の１時間前までに、招集場に張り出された用紙に走順番の記入をすることで招集完了とする。なお、第４走者は腰ナンバーカードを招集完了時刻までに競技者係のチェックを受け競技者係から直接受け取ること。

3．各自登録番号のアスリートヴィブスをユニフォームの背と胸につけること。
跳躍競技については、アスリートヴィブスは１枚でもよい。

4．トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバーカードをパンツの右側後方につけること。
シール式腰ナンバーカードであるため、はがれやすい素材のユニフォームについては安全ピン等で補強すること。（安全ピンは招集所に用意）

5．制限タイムを設定する種目は次の通りとし、それまでにゴールできない場合は失格とする。
（監察員の指示に従い、速やかに競技を中断すること。）

種目名	中学男子・高校一般・中学女子 3000m	高校一般男子 5000m
制限タイム	15 分 00 秒	20 分 00 秒

6．中学、高校・一般の走高跳のバーの上げ方は、次の通りとする。

男走高跳	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75 以降 3cm きざみ
女走高跳	1.10	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55 以降 3cm きざみ

＊ただし練習の高さと競技開始の高さは、競技者の意向を踏まえてフィールド主任が決定する。
＊小学生のバーの上げ方は競技者の意向を踏まえて別に定める。

7．走幅跳、砲丸投の試技の数は 3 回とする。

8．使用するスパイクピンは、9㎜以下の全天候用ピンとする。（ただし走高跳においては 12㎜以下とする。）

9．トラックのレース順、フィールド競技の試技順はプログラム記載通りとする。
リレー競技に出場するチームは、上衣は同一ユニフォーム、下衣は同色で参加しなければならない。

10．くつ底の厚さは、日本陸連の定めるルール通りとする。小学生は規定なし。

11．競技中のフィールド内およびホームストレート側でのウォーミングアップは禁止する。競技に支障のない範囲でバックストレート側または競技場外で行うこと。（ただし 400m, 800m, 1500m, 3000m, 5000m 競技中はバックストレート側の 8 レーンの外側に出ること。）
競技開始の 10 分前までは競技場内全面でのウォーミングアップを許可する。ただし備え付けの用器具以外の設置は認めない。

その他

⑴ 選手といえども自分が出場している時以外は、応援または付添いのために競技場内に立ち入らないこと。（応援は必ずスタンドの上から行なう）（スタンド下への選手の立ち入りは禁止する。）

⑵ 本部席前は通行禁止とするので、役員以外は通らないこと。

⑶ 競技場内およびトラック上に、競技場備え付けの用器具以外の設置をしてはならない。

⑷ ゴミは各学校、各自が持ち帰ること。